

経営向上懇話会でいただいた意見に対する取組状況等について

項目	取組状況・考え方	説明時期
1コンセプトについて →新博物館をわかりやすく発信する	新博物館の魅力等をキャッチフレーズや一言で表せるよう検討する。	5月
2展示について ① 基本展示 →体験、見せ方の工夫、展示替え ② 企画展示 →訴求力、年間計画、企業連携 ③ 学習交流スペース →にぎわいの創出、運営の工夫	① 基本展示 製作段階で見せ方の工夫を行う。 ② 企画展示 H26 後半以降の展示に反映させる。 ③ 学習交流スペース 今後学習交流スペースの施工段階で工夫するとともに、運営を工夫する。	5月、 12月
3事業について →参加型企画、多様な企画、普段見られない企画(バックヤードツアー等)の年間計画立案	開館年の事業、企画については、今後検討し、25年度後半に計画をまとめる。	12月
4多様な主体との連携について 特に、 ・学校(小中高先生とのネットワーク) ・大学(調査研究、人材育成等、資金獲得) ・博物館(県博のハブ機能の発揮、県内博物館との広報・事業連携、まちかど博との連携) ・企業(企画からの多様な参画、連携) ・庁内(庁内連携、職員協力体制、政策連携) ・その他(神宮や寺社との文化財連携)	意見を踏まえた取組状況について、今回以降に報告する。	今回 以降 随時 報告
5広報・誘客について →・時期、手法、重点を明確にしたプラン (広報PTを組む、職員の活用、様々な機会や媒体を活用、県内団体と連携した広報等) ・統一イメージ、デザイン(キャッチコピー、ロゴ、キャラクター)(プロの活用)	広報戦略を具体化した計画については、今回説明を行い、順次実践していく。	今回
6収支について →・資金計画と業務計画を関連付けた収支計画を早くまとめる。 ・入館者数の上方修正を検討する。 ・家族券や各種割引など多様な観覧料とする。 ・高校生の無料化、高齢者の有料化など ・ミュージアムショップの効果的効率的経営 ・トップはじめ県全体で取り組む寄付金依頼 ・多様な収入手段を検討する。	これまでいただいた意見をもとに収支計画のつめを行っており、次回とりまとめた内容を説明する。 また、12月には、計画の実現に向けた取組状況について報告する。	5月、 12月
7運営主体について ①指定管理者制度 ②施設管理	まず、開館年の直営を前提とした中での運営内容を構築し、H27年度以降の運営検討の状況も随時報告する。	随時 報告
8開館形態(休館日、開館時間)について →三重の状況を考慮しつつ、利用者目線で考える。	設置条例や規則等で規定する内容について今回説明する。	今回

<p>9 組織・体制について</p> <p>→・長期的視野に立った体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業や広報の視点に立った専任体制 ・外部の参画を得る体制 	<p>営業や広報の視点に立った専任体制の整備について今回説明し、長期的な視野に立った開館時の組織体制については、次回以降随時説明する。</p>	<p>今 回 以 降 随 時</p>
<p>10 県民利用者組織について</p> <p>→過去のを整理した上で構築すべき。</p>	<p>現在サポートスタッフの発展形及びボランティア制度について検討、整備を進めており、次回以降に随時報告する。</p>	<p>5 月、 12 月</p>
<p>11 経営向上懇話会のあり方について</p> <p>→経営について様々なアイデアや意見を言っており、形にしてほしい。</p>	<p>開館後の当懇話会のあり方について次回以降に案を示し、必要な規定の整備を行う。</p>	<p>5 月、 12 月</p>